



中太小コミュニティスクールだより

# 子育て三輪車

学びの主役は子供 教育の主役は保護者 しっかり支える学校・地域

中太閩山小学校学校運営協議会

第7号 2026年4月発行

cd13@imizu.ed.jp

望ましい子育て協働体をめざして

## ボランティアを募集しています

保護者の皆様に、PTA総会(4月19日)の折に、ボランティア登録のお願いをしました。昨年度末からさらに2名の方が登録してくださり、登録者は現在46名となっています。すでに畑づくりでご協力をいただきました。

新学年になってますます授業や活動は活発、多様になっています。子供たちの学力の向上、安全の確保、心の落ち着きなどのためにご協力をいただきたいと思います。

ボランティア登録は年中可能ですので、電話やメールでご連絡ください。

## 学校運営協議会開催

4月7日(火)に第1回学校運営協議会を開催し、令和8年度の学校運営の基本方針について説明を受け、質疑を行った後、承認いたしました。

中太小の今年度の学校教育目標等は下の枠内のとおりです。地域の皆様、保護者の皆様もこれからの教育活動に反映されているか見守り、応援してください。

### 学校運営協議会委員

会長 塚本一夫 副会長 江尻泰将

委員 室谷惇司 伊東 聡 小川一代

大門秀司 柴田淳子 今田 悟

高安和代子 鮎田いづみ 澤井達司

学校教育目標 : 自律心と実践力を備えた、心豊かでたくましい子供の育成

本年度の重点目標 : あいさつとあったか言葉で「つなげ、心」

目指す子供像 : 進んで挨拶できる子供

主体的に考え、自分の言葉で思いを表現できる子供 (R7~継続)  
体を動かして遊ぶ元気な子供

重点目標にある『つなげ、心』の具現策の一つは、昨年度に続き『おこめ』を合言葉にしたあいさつ運動の推進だそうです。

子供たちの人間関係力を伸ばすためには、心を開いてかかわり合うことが大切です。

その意味で進んで「あいさつ」をするということは、相手の存在を受けとめ、自分からかかわりを持つことだといえるでしょう。

※おこめ：おおきな声で、こころを込めて、めをつないで を合わせた合言葉

また、本年度は子供たちの「非認知能力」の育成に力を入れるということです。

非認知能力はテストなどのように数値化できる「認知能力」とは異なり、感情や心の内面、行動姿勢にかかわる能力を指し、近年の研究では、非認知能力の高い人は相対的に収入が高くなる傾向があるとされ、将来の幸福や経済的安定、社会的成功に大きく影響することが明らかになってきています。

幼少期に高い非認知能力の素地を得た人は、社会や企業において採用やキャリア形成に良い影響を与えるとも指摘されています。

### 非認知能力

- やり抜く力(粘り強さ):困難な課題に直面しても諦めずに取り組む力
- 自己コントロール:感情や行動を適切に調整する力
- 好奇心・探究心:新しいことに挑戦し学び続ける力
- 協力する力:他者と協働して目標を達成する力

# 子供の成長と「遊び」

学校からは、今年度実施予定の『放課後学校開放事業』も、人との遊びを大切に、非認知能力の育成に効果があるのではないかと考えて導入することにした、と説明

がありました。そこで重要なのが「遊び」です。

日本福祉大学の勅使千鶴(てしちず)教授は「遊び」を次の5つの視点から説明しています。

あそびは

- ① 子どもの年齢に応じて楽しむことができ、そのうえ面白さを追い求める活動
- ② 本来自主的・自発的で自由な活動
- ③ 身体的諸機能、諸能力の発達をうながす活動
- ④ 知的諸能力を発達させる活動
- ⑤ 人と人とを結ぶ活動

「子どもが自主的・自発的に行う(誰かに強制されない)」という点は右のカイヨワと共通しています。

遊びのもつ本質は子どもが自ら「やりたいからやる」活動で「楽しめること」が重要です。

この「やりたい気持ち」、すなわち好奇心こそが成長のための大切な要素になります。

大リーグで活躍する大谷翔平選手の様子が「まるで野球少年のようだ」と評されますが、より高次元でプレーできる自分を追求することが楽しいからこそ一年365日ずっと野球のことを考え続け、努力し続けられるのかもしれませんがね。

楽しくやりたいからと、子どもの好奇心に基づいて展開されていく活動が遊びです。だからこそ、遊ぶことによって子どもの能力は自然に伸びていくのかもしれませんが。

勅使さんは「遊びは知的身体的な発達を目的とする活動とは異なる」と述べておられます。

遊びを通して成長することはあくまで結果としてそうなのであり、発達や成長自体を目的として行うことではないということです。大人がルールや結果を規定してしまうと、ともすれば押しつけや義務になってしまい遊びのカテゴリーから外れてしまうのです。

自由に何かに見立てたり、場や道具を工夫したり、ルールを変えたり作ったりしながら遊ぶことは、子供たちのユニークな発想や柔軟な考え方、そして人間関係力を伸ばしてくれるのではないのでしょうか。

## カイヨワ(フランスの社会学者)による人間の遊びの定義

- ① 自由な活動: 遊戯者が強制されない活動
- ② 隔離された活動: あらかじめ空間と時間が決められている
- ③ 未確定の活動: あそびの展開が決定されていたり結果がわかっていてはならない
- ④ 非生産的な活動: あそび展開(ゲームなど)での財産の移動をのぞいてあそび開始時と何も変わらない
- ⑤ 規則のある活動: ルールに従って行う活動
- ⑥ 虚構の活動: 日常と比較して非日常である

## へえ、そうなんだ!

教育や子育てについて多様な視点から考えていただけるよう紹介しています。

教育や子育てについて

「その“スマホ育児”が、子どもの脳を蝕む…」小児精神科医が明かす、親の無意識が引き起こす深刻な代償  
(2025/8/17 with class)



『非認知能力』とは「子どもがこの先人生を生き抜くために必要な力」  
(2025/10/12 hirofuminice)



九九を暗唱させる「日本式」は間違っていなかった…「世界一の教育大国」で学力崩壊が進んでいる理由  
(2026/3/15 プレジデントオンライン)



家庭の経済格差と認知能力・非認知能力格差の関係分析  
(2018/1 日本財団)



子どもの語彙力を育てる家庭での工夫  
(2025/10/25 systecevo)



※保護者の皆様が「参考になる」と思われる情報や書籍などありましたらお聞かせください。